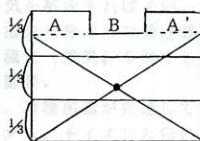
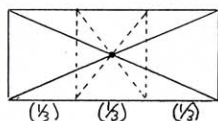


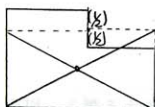
1. 家の中心を決める。・・・張りは $\frac{1}{2}$ 、大張りは $\frac{1}{3}$



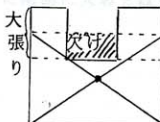
Aを張りBを欠けという。張りと欠けの取り方で中心が変わってしまう。このケースなら $\frac{1}{2}$ 以内なら張りから中心地を決めても良い。



長方形の家も
 $\frac{1}{2}$ に仕切って中心地を決められる。



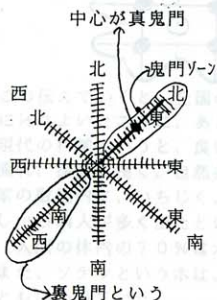
$\frac{1}{2}$ に仕切れない場合
 $\frac{1}{2}$ に仕切って中心を決める



大張りのケースは、張り部の $\frac{1}{2}$ をとり、中心を決める

2. 方位を決める。・・・磁石は、季節やその日の状態で針がぶれるので、「堺目」測定に要注意。家の図面だけでなく、敷地図面、住宅地の地図も参考に。

3. 鬼門位置を決める。・・・北東位置が鬼門（昔から敵が攻めてくるという言い伝えから）



玄関とトイレの位置はどんな人も関心をもつ。（気にかけている。）その位置が凶相なら鬼門に、吉相なら喜門になる。建物の北東の位置は鬼門だが、「蔵」＝「資産」、すなわち、収納スペースには向いている。鬼門はまた、若い男（少男）、後継ぎの意味もある。

さて、トイレは北東に限らず八方位すべてきらう。そこで鬼門ゾーンにトイレ空間が重なっても「便器」の位置をずらすせばよい。キッチンも同様で「シンク」の位置をずらす。シンクの排水口を $10^{\circ} \sim 15^{\circ}$ 分逃げればよい。なお、マンションのトイレはまったく家相は気にしなくてよいがタンクや便器の「汚」（お）の部分は気にする人がいる。億ションといわれる高額マンションは家相としてトイレの位置そのものを気にする人がいる。

清濁いらいト化け凶相